

岐阜大学応用生物科学部の令和7年4月改組に係る入学者選抜について

岐阜大学応用生物科学部は令和7年4月（令和6年度実施入試）から以下の改組を行います。

改組前（令和6年度3月まで）	改組後（令和7年度4月から）
応用生命科学課程	応用生命化学科
生産環境科学課程	食農生命科学科
	生物圏環境学科

現行の2課程（応用生命科学課程・生産環境科学課程）を新しく3学科（応用生命化学科・食農生命科学科・生物圏環境学科）に組織改編いたします。改組に係る教育内容等の変更は以下のURLにてご確認ください。

岐阜大学応用生物科学部ホームページ URL：<https://www.abios.gifu-u.ac.jp/>

つきましては、令和6年度実施（今年度）の入学者選抜試験は改組後の新学科にて実施いたします。なお、共同獣医学科は従来通り変更はございません。

I アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

◎応用生物科学部

<求める学生像>

応用生物科学部は、応用生物科学の学理を修得し、生物産業の発展や持続可能な生物生産、人間を含む生態系の保全およびヒトと動物との共生などの分野で活用することによってより良い社会を実現したいと考える学生を求めています。

このためには、大学での学修に必要な基礎知識や技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性などの資質が必要です。応用生物科学部では、これらの資質を多様な入試で判定し、**応用生命化学科**、**食農生命科学科**、**生物圏環境学科**及び**共同獣医学科**の具体的な目標の達成のために強い意欲をもって学習に励む学生を受け入れます。

各学科における受け入れ方針は以下のとおりです。

応用生命化学科では、化学、生物学、生命情報科学を基盤とする多角的視点から生命の本質を探究・理解し、生命科学に立脚したアプローチにより、現代社会が抱える地球規模の諸課題を解決に導く強い意欲をもつ以下のような人材を求めます。

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識をもっている人
- 地球規模での持続可能な社会システムへの転換に意欲をもっている人
- バイオテクノロジーによる新分野、新価値の創造に意欲をもっている人
- 生物資源・生体成分の機能解明とその利活用に意欲をもっている人
- 石油や動物に依存しない再生産可能なバイオものづくりの推進に意欲をもっている人
- 健康長寿社会、脱炭素社会、バイオエコノミー社会の実現を達成する意欲をもっている人

食農生命科学科では、人が生きるために必要不可欠な「食」に強い関心を持ち、食料の生産から消費・廃棄に至るフードチェーンにおける社会的課題の理解及び農業科学と食に関する最先端技術を融合させることで、人と地球の健康に資する持続可能な「食料システム」の創出に強い意欲をもつ以下のような人材を求めます。

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識をもっている人
- 農作物・家畜の生命現象、及びバイオテクノロジーによる機能性作物・畜産物の開発に意欲をもっている人
- フードテックによる健康的で、機能的な食品の開発、及び安全性の追求機能的、健康的、安全な食品の開発に意欲をもっている人
- 広い視点から「食料システム」をとらえる意欲をもっている人
- 食科学及び食料生産に強い関心を持ち、脱炭素化社会における持続的農業生産体系と技術の確立に意欲をもっている人

生物圏環境学科では、生物多様性に支えられた生態系サービスの利活用を通じて、持続可能な社会を実現することに強い関心を持ち、生物環境の科学的理解及び利活用技術、社会実装の方法を修得することで、生態系サービスの利活用を通じて、持続可能な社会を実現することに強い意欲をもつ以下のような人材を求めます。

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識をもっている人
- 地球や地域における水・物質循環及びならびに生物から構成される生物環境及び生態系の科学的理解に意欲をもっている人
- 動物の生息域内及び域外保全をはじめとする生物の多様性保全活動を支えることに意欲をもっている人
- 農林業等の一次生産活動をはじめとした人間活動にともなう生物環境が生み出す多様な生態系サービスの持続的な利活用技術の確立に意欲をもっている人
- 生態系サービスの効果的な利活用を通じた持続可能な社会の実現に意欲をもっている人

岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科では、動物、人間社会、環境の健全性の維持に貢献し、多様化、高度化、国際化しつつある獣医学に対する社会的要請に対応できる獣医師の養成を目指しています。そのため、以下に掲げる意欲を持つ人材を求めます。

- 高度な獣医学教育に対応し得る高い総合的学力を備えている人
- 国際性及び科学的・論理的思考の習得に必要な基礎的な語学力と理系の知識を備えている人
- 自然や生命に強い興味を持ち、それを探求する意欲を持つ人
- 獣医学に関わる高い倫理観と使命感、コミュニケーション能力を備える人

- e. 獣医師としての目的意識を持ち、獣医学を通じて社会の発展に貢献する意欲を持つ人
- f. 公衆衛生や環境衛生、動物の病気の診断・治療等の幅広い分野について強い意識を持って学習に励む人
- g. 国際交流に積極的に関わり、獣医師として世界に貢献する意欲を持つ人

<受け入れる学生に求める学習成果>

本学部は、「学力の3要素」を次のように4要素に再分類し、これまでの学習の成果を評価します。

[知識・技能]

応用生物科学の学理の理解に必要な基礎能力、課題に対する知的好奇心

[思考力・判断力]

科学的な思考、科学的な根拠に基づいた適切な判断

[表現力]

相手の意見に耳を傾け、自分の考えを的確に伝える

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

独創的な取り組み、他者との協調性

学力の3要素等		知識・技術	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性 ・協調性
選抜方法及び入試区分					
大学入学共通テスト	一般,学校推薦型選抜II	◎	○		
個別学力試験	一般	○	◎	○	
面接	学校推薦型選抜 I, II		○	◎	◎
小論文	学校推薦型選抜 I, II	○	◎	◎	○
調査書	学校推薦型選抜 I, II	○			○

◎最重要評価項目、○重点評価項目

入学者選抜の基本方針

<前期日程試験>

応用生命化学科、食農生命科学科、生物圏環境学科では、高度な専門教育に対応し得る高い総合的学力並びに国際性及び科学的・論理的思考の習得に必要な基礎的な学力と理数系の知識に関する能力を重視して選抜します。そのために、大学入学共通テスト及び個別学力試験（数学及び理科）により農学の学理の理解に必要な基礎学力、課題に対する知的好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、自分の考えを的確に伝える表現力を評価します。

志願者は、出願時に希望する学科を第二志望まで申請することができ、大学入学共通テスト及び個別学力試験の合計成績の上位者優先で希望の学科に配属されます。配点は、学生募集要項を参照してください。

共同獣医学科では、大学入学共通テスト及び個別学力試験により「獣医学の学理の理解に必要な基礎学力」を評価します。

<後期日程試験>

応用生命化学科、食農生命科学科、生物圏環境学科では、高度な専門教育に対応し得る高い総合的学力並びに国際性及び科学的・論理的思考の習得に必要な基礎的な学力と、特に理科の知識に関する能力を重視して選抜します。そのために、大学入学共通テスト及び個別学力試験（理科）により農学の学理の理解に必要な基礎学力、課題に対する知的好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、自分の考えを的確に伝える表現力を評価します。

志願者は、出願時に希望する学科を第二志望まで申請することができ、大学入学共通テスト及び個別学力試験の合計成績の上位者優先で希望の学科に配属されます。配点は、学生募集要項を参照してください。

<学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない選抜)>

応用生命化学科、食農生命科学科、生物圏環境学科では、職業教育で得た経験を生かして、優れたリーダーシップを発揮できる能力を重視して選抜します。そのために、小論文により志望する学科で学ぶために必要な素養、課題に対する知的好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、自分の考えを的確に伝える表現力を評価します。前述の能力に加えて面接では、推薦書及び志望理由書を参考資料とし、独創的な取り組み、他者との協調性を評価する。調査書では、基礎学力、独創的な取り組み、他者との協調性を評価します。配点は、入学者選抜に関する要項を参照してください。

<学校推薦型選抜 II (大学入学共通テストを課す選抜)>

応用生命化学科、食農生命科学科、生物圏環境学科では、主として、自然や生命に強い興味を持ち、それを探求する意欲、農学に関わる高い倫理観と使命感、コミュニケーション能力を重視して選抜します。そのために、大学入学共通テストでは農学の学理の理解に必要な基礎学力が修得できていること、小論文試験、面接試験及び調査書では、課題に対する知的好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、相手の意見に耳を傾け自分の考えを的確に伝える表現力及び大学で学ぶ上での適性を評価します。前述の能力に加えて、面接及び調査書では独創的な取り組みや他者との協調性も評価します。このように、高等学校入学後の学びから出願に至るまでの期間に獲得した学業並びに学業以外の諸成果を多面的かつ総合的に評価し入学者を選抜します。

共同獣医学科では、大学入学共通テストにより「獣医学の学理の理解に必要な基礎学力」を評価します。小論文、面接及び調査書により「論理的思考力、考えを伝える表現力」と獣医学を学ぶ上での適正などを評価します。

Ⅱ 募集人員

学部・学科等名	入学定員	募集人員						
		一般選抜		特別選抜				
		前期日程	後期日程	推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	社会人	帰国生	
応用生物科学部	応用生命化学科	55	35	10	2	8		
	食農生命科学科	55	35	9	3	8		
	生物圏環境学科	50	33	6	3	8		
	共同獣医学科	30	26	0	0	4		
	計	190	129	25	8	28		

(注)

- ・この表中、推薦Ⅰは大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰ、推薦Ⅱは大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱを示します。
- ・学校推薦型選抜Ⅰ及びⅡの欠員は各学科別に前期日程で補充

(留意事項)

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）に出願することができるのは、1つの同じ大学・学部に限られています。また、本学の「学校推薦型選抜」と、他の国公立大学の「総合型選抜」との併願は認めていません。（ただし、他の国公立大学の「総合型選抜」を不合格となった者の出願は認めます。）

Ⅳ 出願資格 Ⅴ 岐阜大学入学資格審査 Ⅵ 障害等のある者の出願にあたっての事前相談

出願資格・岐阜大学入学資格審査・障害等のある者の出願にあたっての事前相談は『入学者選抜に関する要項』P10～13を参照してください。

Ⅶ 入学者選抜方法等

一般（前期・後期）

1. 一般選抜の入学者選抜方法等

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び調査書により、総合的に判定します。

学部・学科等名		選抜方法等	個別学力検査等							個別学力検査等の日程	
			個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜			
				実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	二外国語テストをおける	大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数 対募す集る人倍員率に その他		
応用生物科学部	応用生命化学科 食農生命科学科 生物圏環境学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日 (火)
		後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日 (水)
	共同獣医学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日 (火)

【全学部共通事項】

- ・当初合格者で入学手続きを完了した者が入学定員に満たさない場合は、追加合格を行うことがあります。
- ・追加合格を行っても、なお入学手続きを完了した者が入学定員に満たない場合は、欠員補充第2時募集を行うことがあります。

◎出願期間及び合格者発表

- ・出願期間（前期・後期日程） 1月27日（月）～2月5日（水）
- ・合格者発表（前期日程） 3月7日（金）
- ・合格者発表（後期日程） 3月21日（金）

2. 特別選抜の入学者選抜方法等

選抜方法等 学部・学科等名		総合型選抜	学校推薦型選抜							学校推薦型選抜募集人員	専門高校・総合学科卒業生入試	帰国生・社会人等のための特別選抜			備考
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。									帰国生	中国引揚者	社会人	
			個別学力検査を免除し、 大学入学共通テストを 課す	個別学力検査及び 大学入学共通テストを 免除する	実技検査等				その他						
実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す			外国語におけるリスニングテストを課す										
応用生物科学部	応用生命化学科	×	×	○	×	○	○	×	×	2人	×	×	×	(学校推薦型選抜Ⅰ) <hr/> (学校推薦型選抜Ⅱ)	
	食農生命科学科		×	○	×	○	○	×	×	3人					
	生物圏環境学科		×	○	×	○	○	×	×	3人					
	応用生命化学科		○	×	×	○	○	×	×	8人					
	食農生命科学科		○	×	×	○	○	×	×	8人					
	生物圏環境学科		○	×	×	○	○	×	×	8人					
共同獣医学科									4人						

※ 注意事項

1. 学力検査等の区分・日程は次のとおり略記しています。
前期（一般選抜（前期日程））、後期（一般選抜（後期日程））、推Ⅰ（学校推薦型選抜Ⅰ）、推Ⅱ（学校推薦型選抜Ⅱ）
2. 大学入学共通テスト及び個別学力検査等に共通する事項
 - 1) 教科名は次のとおり略記しています。
国（国語）、地歴（地理歴史）、数（数学）、理（理科）、外（外国語）、情（情報）
 - 2) 科目名は次のとおり略記しています。
国（国語）、
「地総、地探」（「地理総合、地理探究」）、「歴総、日探」（「歴史総合、日本史探究」）、「歴総、世探」（「歴史総合、世界史探究」）、「地総／歴総／公」（「地理総合／歴史総合／公共」）、「公、倫」（「公共、倫理」）、「公、政経」（「公共、政治・経済」）、「数Ⅰ、数A」（「数学Ⅰ、数学A」）、「数Ⅱ、数B、数C」（「数学Ⅱ、数学B、数学C」）、「数Ⅰ（数学Ⅰ）、数Ⅱ（数学Ⅱ）、数Ⅲ（数学Ⅲ）、数A（数学A）、数B（数学B）、数C（数学C）」、「物基／化基／生基／地基」（「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）、「物（物理）、化（化学）、生（生物）、地（地学）」、「物基、物」（「物理基礎、物理」）、「化基、化」（「化学基礎、化学」）、「生基、生」（「生物基礎、生物」）、「英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）」
情Ⅰ（情報Ⅰ）
 - 3) 教科は「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」、「情報」をそれぞれ1教科とします。
3. 個別学力検査の出題範囲に関する事項
 - 1) 数学の科目・出題範囲は次のとおり略記しています。
数学Ⅰ… 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A の範囲：全範囲
数B の範囲：「数列」「統計的な推測」
数C の範囲：「ベクトル」。
数学Ⅱ… 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A の範囲：全範囲
数B の範囲：「数列」「統計的な推測」
数C の範囲：「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」
 - 2) 外国語の科目・出題範囲は次のとおり略記しています。
英… 英語範囲：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ
4. 大学入学共通テストの配点に関する事項
 - 1) 大学入学共通テストの「外国語」における「英語」は、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）ですが、本学は「外国語（英語）」の配点をリーディング150点満点、リスニング50点満点に換算します。
リーディングとリスニングの換算後の合計得点を各学部等が定める配点に応じてさらに換算します。